

boundary  
spanner

# boundary spanner株式会社 DX推進への取り組み

Ver 2022.10

# DXとは

---

DX（デジタルトランスフォーメーション）とは、Digital Transformationの略語です。DXとは、本来、データやデジタル技術を使って、顧客視点で新たな価値を創出していくことである。Transformationは「変容」という意味を指しており、DXを直訳すると「デジタルによる変容」ということになります。デジタル技術を用いて、生活やビジネスを変容していくことが求められています。

DXには「攻めのDX」と「守りのDX」とあると弊社では考えております。攻めは世間でよくイメージする企業活動で蓄積されるデータを活用し、新しい提案や事業を立ち上げることです。守りは企業内の業務においてデジタル化できていないものを見直し、業務効率をあげ、攻める準備をすることです。

この2点同時に語ってしまいDXプロジェクトがうまく立ち上がらない企業も多いかと思えます。弊社はしっかりと仕分けしながら高付加価値の業務への変容を支援しております。

## DX推進への取り組み

---

デジタル時代の潮流として、DX（デジタルトランスフォーメーション）は欠かせないものになってきました。

その中で弊社としても積極的にDX推進を図り、クライアントの課題を解決する取組を多く提供できればと考えております。

弊社での取り組みとして、最も大きな要素を占める要素、クライアントの「新事業開発」と「業務効率化」です。

多くのITベンダーとの差別化として、クライアント業務理解とそれにもないデジタル化支援があります。

また、弊社は、IT補助金支援事業者の選定や、SECURITY ACTIONに関して2つ星宣言しており、DX推進におけるしっかりした運営体制を築いております。

# 経営ビジョン/ビジネスモデル

---

## ビジョン

人やビジネスを正しく繋ぐことで、より良い社会づくりに貢献する

## ミッション

- IT技術を活用し、企業のデジタル化を支援し、コミュニケーションを最適化する
- クライアントに寄り添い最適なデジタル技術やソリューションを提案する

# 経営戦略

---

- 単なるコンサルティングだけでなく、クライアントの業務を理解し最適なソリューションを提案、開発することで、クライアント業務に並走する
- 自社事業を展開し、その知見をクライアントへの提案に活かす、またクライアント業務で培ったノウハウを自社事業へ展開する。このサイクルを高速で回す。

# 組織図

---

